

スミスは「国富論」の中で、政府による市場の規制を批判している。規制で既存企業の既得権益が守られ市場への新規企業の参入が滞ること、競争が妨げられるからである。

やさしい経済学

ルールやルールの不適切な適用はやる気を失わせる。これは、社会一般にも当てはまることである。

学期末の通知表の各科目の成績がテストの成績だけではなく、子供の態度、意欲などを点数化したものからなっていることである。

度、意欲、関心に点数を付けていないからである。大学への推薦入学はそのように付けられた高校の成績を基に作られた内申書で決まる。ペーパーテストで測る学力が低い大学生がいても仕方がない。

競争は社会の利益を高めるが、不適切なルールの下ではゆがめられた競争しか成立せず、社会の利益を損なうことになる。

少なすぎても、予想外の結果や事故が起きる。サブプライムローン問題では、貸し倒れリスクの大きい人向けの住宅ローンが証券化され、他の金融商品や投資信託などに組み込まれ、セットで販売されていた。投資家が必ずしも正確にリスクを把握できない金融商品を売買する未成熟な市場だったのである。サブプライムローンの証券市場は質が低い例である。

むろん、市場を成立させる適切な最低限の取り決めは必要である。これがあるから自由競争が可能になる。ただ、適切かつ最小限のルールはプレーヤーのやる気を促す半面、過剰なル

危機・先人に学ぶ アダム・スミス

適切なルール